学校法人聖経学園

日本聖書神学校

日本基督教団認可神学校

学校案内 2023

Japan Biblical Theological Seminary

基本理念

日本聖書神学校は福音主義キリスト教の立場に立ち、主の教会の委託を受けて、聖書に基づき、深い信仰と、誠実かつ熱心な神学研鑽、歴史的現実への洞察と他者に共感できる感性を兼ね備えた、福音宣教への召命に応えようとする伝道者を養成することを目的としています。

献身の志を与えられた皆さんへ

校長 **神保 望**

「主の霊がわたしの上におられる。貧しい人に福音を告げ知らせるために、主がわたしに油を注がれたからである。主がわたしを遣わされたのは、捕らわれている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げ、圧迫されている人を自由にし、主の恵みの年を告げるためである。」（ルカによる福音書 4 章 18 ～ 19 節）この聖句は、ガリラヤで伝道を開始されたイエス・キリストが預言者イザヤの言葉を引用されつつ語られた福音宣教への招きの言葉です。日本聖書神学校創立の歴史的背景には、第二次世界大戦によって廃墟と化した日本と言う大変厳しい現実があったのであり、そうした虚無的な状況にあって先人たちが神学校創立の決断をしたのには明確な理由がありました。それは、福音を宣べ伝えると言う福音宣教の働きにのみ真の希望を見ることが出来たからです。

爾来日本聖書神学校は、キリストの十字架と復活の信仰にかたく立ちつつ、福音宣教への主の御招きに応える努力を続ける中で、諸教会における礼拝・伝道・牧会・教育への責任を十分に果たす伝道者、また今日の社会の只中にあって示された課題に対して隣人と共に取り組み、主の御心に適った奉仕の業を誠実に果たすことの出来る伝道者を養成して来ました。そして、創立以来大切にして来た基本理念に常に立ち返りつつ、これからも伝道者養成と言う光栄ある務めを主の励ましと導きとがあることを信じつつ続けて参ります。

日本聖書神学校は、日本基督教団の 6 つの教師養成機関の中でも特に昼間働き夜学ぶことの出来る唯一の教団認可神学校です。1946 年の創立以来 76 年を経過した日本聖書神学校は、これまでに 760 名の伝道者を輩出しており、卒業後は国内外の教会・伝道所に派遣されて福音宣教の働きに従事しています。

全世界の全ての地、とりわけ日本の福音宣教のために日本聖書神学校が豊かに用いられ、諸教会・伝道所において献身の志を与えられた多くの方々が本校に入学し霊性の涵養と神学的研鑽とを希望をもって経験されますことを、主の執り成しを祈りつつ待っています。

教員からのひとこと

神保 望（じんぼ のぞみ） 校長（実践神学）

担当科目： 宣教学、ビーベルクンデ、実践神学ゼミ

福音とはイエス・キリストによる神の救済の出来事であり、教会は全ての人々に福音を宣べ伝えるよう、キリストから委託されています。ですから宣教学の授業は教会に委託された福音宣教の意味を理解し、過去を検証しつつ実践して行く上で不可欠な学びとなります。宣教者への備えとしての学びを、ご一緒に深めて参りましょう。

荒瀬 牧彦（あらせ まきひこ） 教授（実践神学）

担当科目：礼拝学、教会音楽、英書講読、他

礼拝は、ある意味、歴史と信仰と現在の生が結集するところであり、同時に、終末の祝宴の先取りです。礼拝においてわたしたちは繰り返し新しい人間とされていきます。広い視野と深い識見を持つ礼拝計画者、司式者、説教者、牧会者となっていくために学びましょう。「礼拝から神学する」喜びを共に！

小林 祥人（こばやし よしと） 教授（旧約神学）

担当科目：旧約時代史、旧約釈義Ⅰ

旧約聖書は分厚くて重たい本なのに、イエスは登場しません。しかしだからといってイエスと無関係なわけではありません。それどころか、父なる神がイエスを地上に遣わすことになった、その事情が満載です。その事情について、大部な書物の中から少しずつ辿ってみたいと考えています。

菅原 裕治（すがわら ゆうじ） 教授（新約神学）

担当科目：ギリシア語、新約神学Ⅰ、新約学ゼミ、他

新約聖書を読む時、いつでも大きな信仰的・知的発見があります。そして、歩むべき方向が示されます。それは、信仰者にとって大きな喜びです。その喜びを深め、また誰かと共にするために、神学校で、新約聖書のギリシア語、概論、時代史、神学、釈義、解釈を学び、共に祈り、意見を交わしましょう。

古谷 正仁（ふるや まさよし） 教授（実践神学）

担当科目：説教学、説教演習Ⅱ、教会の職務、他

実践神学は聖書神学、組織神学等を基礎として、他の一般的な諸学とも対話しながら、教会の宣教を、み心に適うものに近づけるために学ぶものです。聖書神学や組織神学を学ばなければ聖書を深く理解することが出来ないように、実践神学を学ぶことなしに、教会を深く知ることは出来ません。どうぞ積極的に学んで下さい。

柳下 明子（やなした あきこ） 教授（歴史神学）

担当科目：キリスト教史Ⅰ・Ⅱ

過去に起こった出来事をつなぐ意図を見つけ、今の自分の立ち位置を知り、未来につなげてゆくことが歴史を語ることです。明日の見えない時を生きるときこそ、歴史的知見はわたしたちの歩む道を支えてくれるはずです。これからの教会の歩みを支えるものを、共に見つけられることを願っています。

カリキュラム

＊印は選択および選択必修科目

分野	基礎学			神学				総合演習	その他（全学年共通）
	聖書	神学	語学	聖書神学	歴史神学	組織神学	実践神学		
1年	ビーベルクンデ 新約概論 旧約概論 ギリシア語 新約時代史＊ 旧約時代史＊	基礎文章理論 神学概論 キリスト教と文学＊	英書講読 ドイツ語＊ ラテン語＊		キリスト教史Ⅰ 日本キリスト教史特講＊		キリスト教教育Ⅰ フィールドスタディ	総合演習Ⅰ 「聖書の読み方」	礼拝 フィールドワーク（教会実習等） 器楽 総合演習
2年	ヘブル語Ⅰ		英書講読	新約神学Ⅰ 新約原典講読＊ 新約釈義Ⅰ 旧約神学Ⅰ 旧約釈義	キリスト教史Ⅱ 日本キリスト教史Ⅰ 日本キリスト教史Ⅱ＊ 日本宗教史	神学思想史Ⅰ 組織神学	説教学 キリスト教教育Ⅱ	総合演習Ⅱ 「現場実習」	
3年				新約神学Ⅱ 新約釈義Ⅱ 旧約神学Ⅱ 旧約原典講読＊	アジアキリスト教史 キリスト教教理史	神学思想史Ⅱ キリスト教倫理	宣教学 礼拝学 説教演習Ⅰ 牧会学 教会音楽	総合演習Ⅲ 「教会の職務と実際」	
4年				新約学ゼミ＊ 旧約学ゼミ＊	歴史神学ゼミ＊	組織神学ゼミ＊	実践神学ゼミ＊ 説教演習Ⅱ 牧会カウンセリング 精神医学特講	総合演習Ⅳ 「聖書から教会を読む、教会から聖書を読む」	卒業論文（4年）

♪時間割

日	月・金	火～木
実習教会でのフィールドワーク	【1限】（礼拝） 18：00～18：45	【1限】 18：15～19：45
	【2限】 18：50～20：20	【2限】 19：55～21：25
	【3限】 20：30～22：00	

- 月～金に各2コマの授業と、月曜日・金曜日に全校礼拝があります。神学生が説教や司式等を担当します。
- 前期（4月～7月）・後期（9月～1月）のセメスター制となっています。
- 日曜日はそれぞれの実習教会において、実習教会牧師の指導のもとフィールドワークを行います。

聖書語学オンライン講座

通常の教室に開講されている聖書語学の講座（ギリシア語：1年、ヘブル語：2年）を、オンラインで聴講することができます。受講の条件は、聖書語学の学習を希望される方で、神学校への通学が困難な方です。先着順で定員を3名として受け入れます。詳細はお問い合わせください。

♪科目紹介

神学概論（1年生）

キリスト教神学の基本的な枠組みを学びます。「神の義」「キリストの贖罪」という概念がキリスト教の歴史的発展の中でどのように受け取られ、伝えられてきたのか神学の入り口でまず整理してみましょう。

新約時代史（1年生）

新約聖書が成立してゆく時代の歴史的背景を、聖書の証言や考古資料および聖書外資料を参照しながら学びます。聖書に伝えられる物語の歴史的経緯を知ることが新約聖書の伝える信仰の理解を重層的にしてくれます。

ヘブル語Ⅰ（2年生）

聖書の言語は本校では必修です。1年生のギリシャ語に続き2年生では旧約聖書の原語ヘブル語を学びます。基礎文法、発音を学ぶことを通して旧約聖書がヘブル語で読めるようになることをめざします。

アジアキリスト教史（3年生）

グローバルな文脈におけるアジア地域のキリスト教の展開をたどります。キリスト教の「土着化」の問題、アジアにおけるキリスト教と帝国主義の課題などについて学ぶことにより、わたしたちの宣教の課題を振り返ることになります。

礼拝学（3年生）

礼拝とはどのような行為であり、そこで行われる様々な象徴行為は何を意味しているのか。牧師はそれらのことを具体的なイメージを持って礼拝に臨む礼拝者であることが必要です。自覚的礼拝者になろう。

牧会カウンセリング（4年生）

教会の現場に出ていくことが間近に迫った4年生が、牧会のためのカウンセリングを学びます。教会員の相談を受けるための心得や手法について、具体的な場面を題材にして一緒に考えていきます。

総合演習（1～4年生）

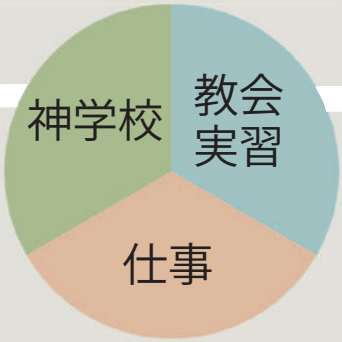
「総合演習」は副題を「キリスト教信仰と人間の尊厳－神学と教会での実践をつなぐために」として、4年間を通して、聖書から社会と教会での経験をつなげることを目的としています。1年次の総合演習Ⅰ「聖書の読み方」では聖書の中でその'差別的な表現'が問題な個所や、その思想が現代の人権感覚では問題になる箇所を、どのように読み解くことができるかを試みます。2年次の総合演習Ⅱ「現場実習」で、神学生たちが各自の関心に従って教会が世に仕える場所で実践的な学びをします。3年次の総合演習Ⅲ「教会の職務と実際」は教会の意味と働きそしてそこにおける牧師の働きを学び、教会の実相がリアリティをもって感じられるようにします。4年次の総合演習Ⅳ「聖書から教会を読む、教会から聖書を読む」は現場に生きる教役者たちから教会の在り方、そこにかかわる牧会者の姿を学びます。

神学校の１年

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学・始業礼拝	学生自治会総会	創立記念の集い	ペンテコステ立証祈祷会	前期試験	献身志願者の集い	夏期伝道実習	前期レポート提出	オープンキャンパス	全校修養会	クリスマス礼拝	新年始業礼拝	卒業論文発表会	後期レポート提出	卒業礼拝

神学校の生活

昼間働き、
夜学ぶ神学校です。



♪教会実習

本校では、神学教育は教室における授業だけで完結されるものとは考えていません。将来、牧師の職務の現場（フィールド）となる教会に対する理解には、「実習教会」における「教会実習」が欠かせません。神学教育は教会の諸活動と密接に関わっているからです。そこで神学生の出席教会には、礼拝やＣＳはもちろん、教会の意思決定プロセス（役員会・長老会など）やその他牧師の様々な牧会実践も実習させていただけるようにお願いしています。

♪学生自治会

学生自治会は、日本聖書神学校の創立精神に基づき会員の自治により信仰の錬磨、学術の研鑽に励み、将来伝道者となる資を高め、進んで校風の発揚に寄与するために、相互の団結、親睦、互助を図ることを目的に、組織されています（学生自治会会則より）。

新入生歓迎会や卒業生を送る会などのパーティーを催したり、学術講演会の企画、会報の発行、オープン・キャンパスの企画運営に加え、カリキュラム部では、神学生が将来伝道者となるためになにが有益なカリキュラムであるかなども、教授会と共に考えています。

♪寮生活

日本聖書神学校の学生寮は一人一部屋の個室ですので、一定のプライバシーが保たれながらも、共同生活を通して主体性、協調性、責任感などを身につける良い修練の場となっています。食事会やクリスマス会などの行事や早天祈祷会、寮会を行っており、寮生全員で協力し合って年間の計画を実施しています。

ほとんどの神学生が働きながら通う夜間の学校のため、体力的にも時間的にも厳しい環境で学ぶ神学生にとって、校舎に隣接する寮があるのはとても大切なことですし、励ましあう仲間とともに暮らすことは、とても心強いものです。

トイレ、浴室は各フロアに共同のものがあります。共同スペースは掃除当番を決めて、寮生が清掃を行います。また洗濯機・乾燥機・冷蔵庫も共用のものが備えられています。

在校生からのメッセージ

神学校での学び

松井直樹（3年）

私が本校に通い始めたのは、2015年度の石川榮一先生の基礎講座「旧約時代史」からです。それ以降本校での学びは、年々、大変楽しくなる一方です。

それも、ひとえにそれぞれの神学の御専門の知識が深い良き先生方や授業をサポートして頂ける職員の方々、人格的にも優れた先輩たち、心優しい後輩たちに恵まれたお蔭です。その結果、この3年間の新型コロナ禍でも、各授業を順調にかつ楽しく学ぶことが出来ましたことを本当に感謝しております。

この外、蔵書を満載した充実した図書館や大きな礼拝堂での司式の学びと礼拝学の実践授業、これまでの人生とは全く違った世界でのフィールドスタディなど座学以外にも沢山の内容を本校では学べます。

また、入学してからも、夜間のため経験豊富な社会人の学生が多く年齢もバラバラで（私もその一人です）、個人的にも親しく交流できます。更に、超教派の方々と交流できるメリットもあります。更にまた、本校では神学校では唯一自治会があるので、そこでは先輩からのアドバイスや教会活動の運営方法も学べます。

このように本校では他の神学校では得られない充実した内容が満載しており、これも神様の恵みと歴代の先生方のお蔭だと思います。

卒業生からのメッセージ

様々な経歴の方と出会える神学校

池田季美枝（59期・牛久教会）

日本聖書神学校に私が初めて訪れたのは、東京のキリスト教主義学校で国語の教員をしていた時でした。学校礼拝でのメッセージの学びのために「神学基礎講座」を受講しました。その後聴講生となり、召命感を与えられ、正科生への道を進みました。正科生となる時に学校は退職し、神学校へは派遣社員として働きながら通いました。

私にとって神学を学ぶことは「これまでの固定概念を切り崩される爽快さ」を味わうことでした。いろいろな発見があり、とても楽しいものでした。聖書神学校での学びの範囲は広く充実しています。多種多様な神学および考え方の先生方にお会いしました。何より、夜学の神学校ということもあり、年齢も経歴も多種多様な神学生と共に学び話し合い、交わることができた経験は得難いものでした。ただ、働きながらの神学校生活は体力的になかなか大変でした。現役でお仕事をされながら学ぶ予定の方は、仕事と学びとのバランスをよく考えてからの入学をお勧めします。退職や転職が難しい方は長期計画も良いと思います。

2007年に卒業後、千葉県の教会で15年奉仕し、会堂建築も経験し、現在は茨城県の牛久教会の牧師として奉仕しています。神学校時代お世話になったK教授が授業の合間にふと教えてくださった「猿型（しがみつき型）の信仰ではなく、猫型（ゆだね型）の信仰」という言葉を思い出しながら日々を歩んでいます。

学びを支える後援会

後援会活動とは？

後援会は、全国の教会、伝道所、信徒の皆さんからお捧げいただいた献金を日本聖書神学校に助成金としてお捧げしています。この助成金から神学生で経済的な支援を必要として居られる方に奨学金が拠出されています。

後援会はこれからも後援会活動の輪を全国に広げて行き神学生が経済的な不安を持つことなく安心して学ぶことが出来るように、より確かな本当の意味での後援会になりたいと願っています。

後援会は神学生を奨学金という形でお支えしていますが、後援会自身は全国の教会そして教会に連なる多くの皆様のお支えによって成り立っています。後援会が日本聖書神学校に充分な貢献をするためには日本全国の教会、伝道所の皆様のさらなる御協力が不可欠です。どうぞ福音宣教のための伝道者を輩出する日本聖書神学校そして後援会の働きを憶えて、お祈りと共に今後とも日本聖書神学校の後援会をお支え下さい。

奨学金実績（2021 年度）

JBTS 奨学金	8 名
信濃町教会奨学金	1 名
三崎町教会奨学金	1 名
小林ミチエ奨学金	1 名

合計　252 万円

後援会会長からのメッセージ

後援会会長　菊池公平
（目白教会 信徒）

口が重く、舌も重く、弁が立たないと言って***「ああ主よ。どうぞ、だれかほかの人を見つけてお遣わしください」***と主の召命を固辞するモーセに***「主はついに、怒りを発して言われた」***とあるように、主なる神様はご自分の計画の内にある人には怒りをもってしてでも明確な意思を示されて主の業に当たるように召命されます。福音宣教の伝道者を志して神学校への道を模索している方が居られましたら「自分のような者に福音の宣教をすることが出来るだろうか」とか「自分は伝道者に相応しいのだろうか」というような人の思いではなく***「御心に適うことが行なわれますように」***とひたむきに祈りつつ神の声を聴いていただきたいと思います。献身の思いを持って居られる方に、主が怒りを発せられることなく、御心によって召命感をお与えになり聖霊によって日本聖書神学校へと導いてくださることを心から期待しお祈りいたします。牧師の仕事は困難やストレスが多い仕事だと思います。牧師はおよそ裕福な生活は望めませんから社会的に報われるということは少ないと思われます。しかし信徒から見ると牧師の仕事は誠に羨ましく幸せな職業だと感じさせられます。それは牧師には神の祝福が約束されているからです。神が間違いなく報いてくださるという点において、牧師の仕事は素晴らしい人生が約束された職業であるということは申し上げられると思います。

日本聖書神学校で学ぶことによって、あなたの求めているもの、あなたに求められていることが必ず与えられると確信しています。どうぞ日本聖書神学校の門を叩いてください、そうすれば必ず開かれます。

神学校へおいでください

※各行事の詳細は、ホームページ等を参照ください。

オープンキャンパス

日　程：
2022 年 10 月 4 日（火）18:30-（予定※）
学生生活紹介、など ※詳細はホームページで案内します

第 12 回 献身志願者の集い

神学校ってどんなところ、そこで学んでいる人はどんな思いでいるのだろう、ということに関心をお持ちの方は、この集いに参加されることをお勧めします。献身することの現実を感じることができるでしょう。

日　程：2023 年 7 月 16 日（日）～ 17 日（月・休）
＊参加希望の方は事前にお申し込み下さい
『信徒の友』にも案内を掲載します。

神学校授業体験週間

神学校の授業を実際に体験できます。
どんな授業をやっているのか興味のある方、神学校入学を考えている方は、ぜひ出席してみてください。

日　時：2022 年 11 月 7 日（月）～ 11 日（金）18:00 ～ 22:00（火・水・木は 18:15 ～ 21:25）
＊体験希望の方は事前にお申し込み下さい

入学試験・募集要項

● 秋期入学試験

出願期間　2022 年 10 月 3 日（月）～ 10 月 21 日（金）
試 験 日　2022 年 11 月 4 日（金）

● 春期入学試験

出願期間　2023 年 1 月 6 日（金）～ 1 月 31 日（火）
試 験 日　2023 年 2 月 16 日（木）～ 2 月 17 日（金）

● 受験資格

1. 大学卒業者またはそれと同等の学力を有すると本校において認められた者。
2. 受洗後 2 ヶ年以上の忠実な教会員であり、伝道の召命を受け、所属教会牧師と役員会の推薦するものであること。

＊日本基督教団以外の教派からの献身者も受験することができます。
＊最終学歴が大学卒業でない者にも「正科生に準じる者」として入学を許可する場合があります。
ただし、入学後、本校が必要と認める学科について所定の単位の修得が必要となります。

● 試験内容

1. 召命に関する短文（1,200 字程度）
伝道者を志すに至った動機と、当神学校受験の事由を記述すること。
2. 筆記試験　旧約聖書、新約聖書、英語、小論文
3. 面接

● 出願関係書類（1.4 は本校所定の書式による）

1. 願書
2. 最終学校の卒業証明書
3. 最終学校の成績証明書
4. 所属教会牧師・役員会の推薦状
5. 医師の健康診断書（保健所の診断項目程度）
6. 召命に関する短文
7. 受験料　20,000 円

● 学　費

入学金	100,000 円
授業料（年額）	264,000 円
設備利用料（年額）	20,000 円（1 年次のみ）

入学金および授業料は分納が可能です。

● 学生寮

20 名程度入寮できます（入居状況によります）。家族寮もあります。

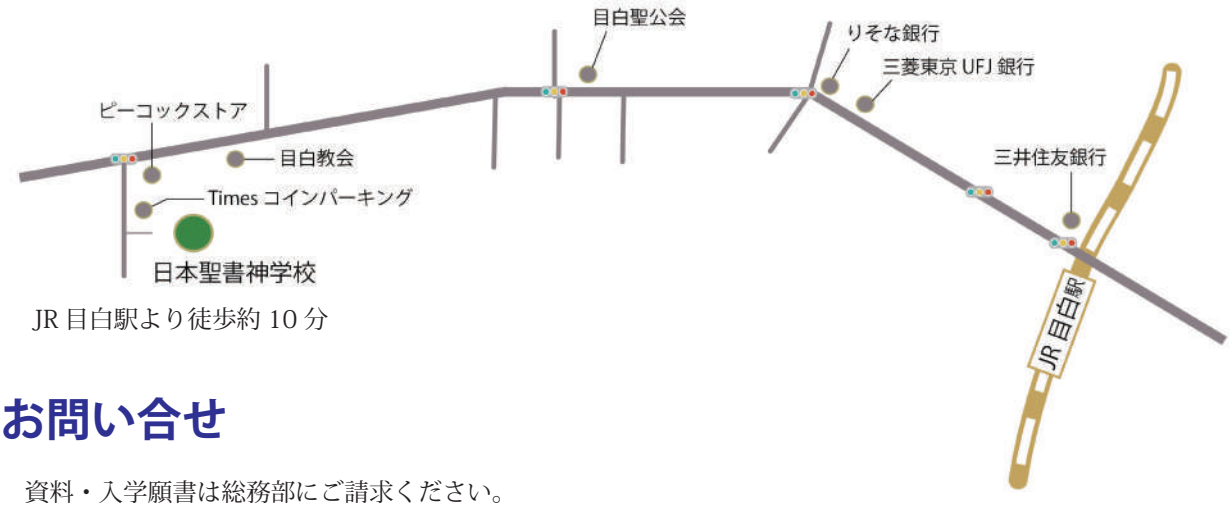
● 奨学金

日本聖書神学校には将来伝道者となるべく献身の志を堅持しながら、経済的な理由により就学困難な者を援助するための「伝道者奨学金」があります。これは諸教会や日本聖書神学校後援会が神学生のために拠出する奨学金で、卒業後に伝道者となって教会の働きに就いた者には返済が免除されます。

● 聴講生

出願資格：受洗後 2 ヶ年以上の忠実な教会員　　定員：若干名
面接試験：2023 年 2 月 17 日（金）
授業料:30,000 円（2 単位）（通年科目（4 単位）は 60,000 円）入学金:10,000 円　設備費:20,000 円（初年度のみ）

交通案内



JR 目白駅より徒歩約 10 分

お問い合せ

資料・入学願書は総務部にご請求ください。

〒 161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16
学校法人 聖経学園　日本聖書神学校

Tel: 03-3951-1101　Fax: 03-3951-3044
E メール：jbts@jbts.ac.jp
ホームページ：http://www.jbts.ac.jp/